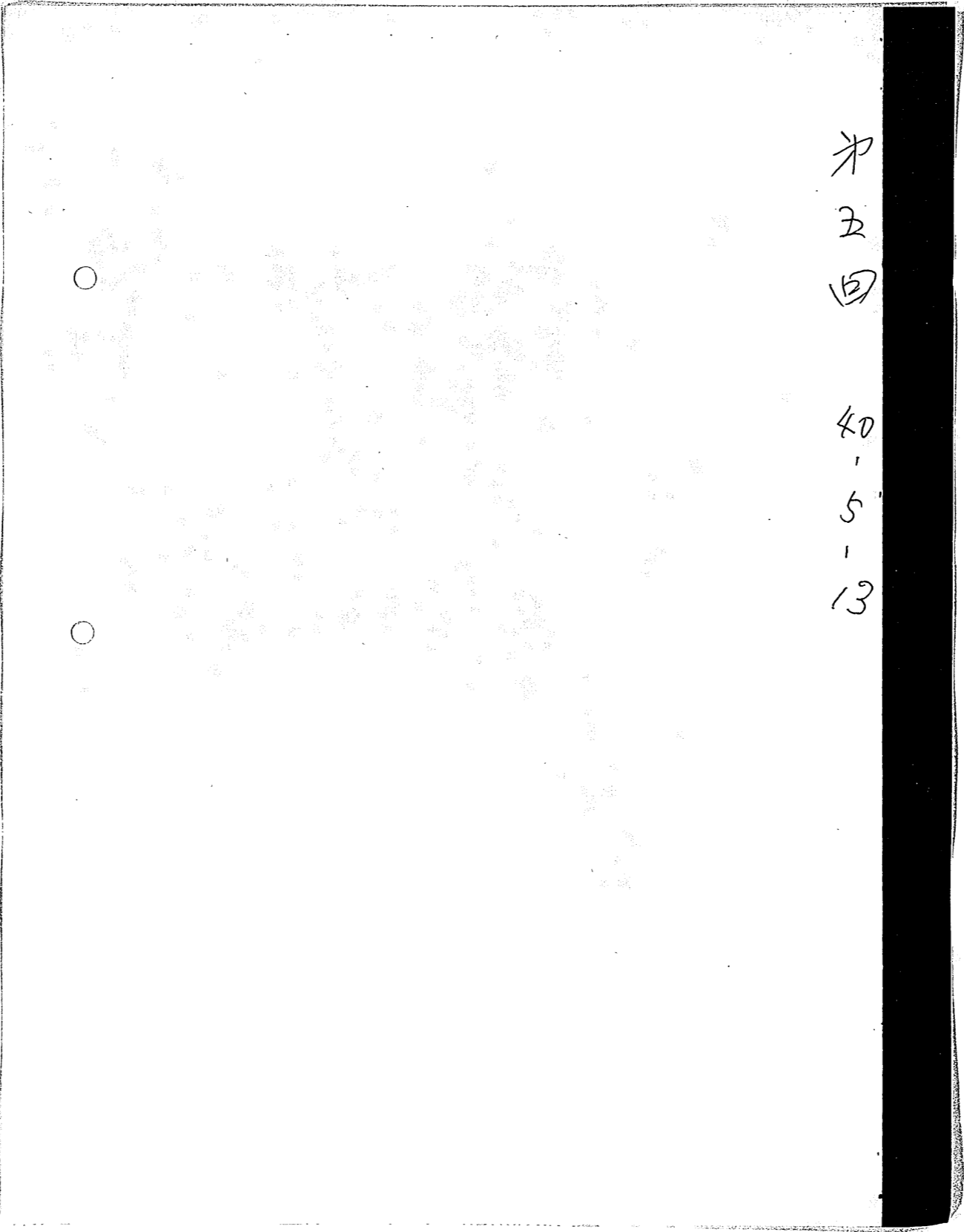


琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 日米技術

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): 日米技術委員会, 審議概要 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43733



7

5

4

40

5

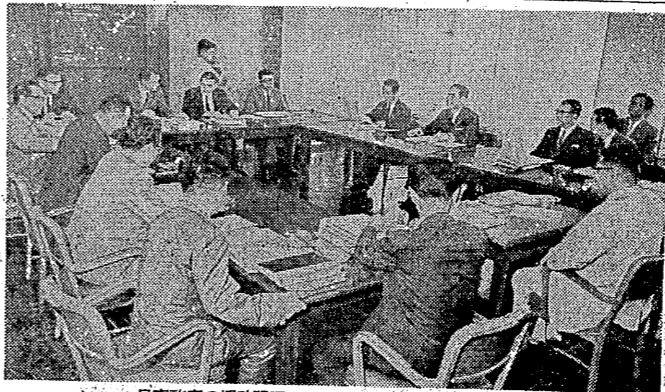
13

北米局長
参事官
北米課長

援助資金中心議題に

第五回日米琉技術委開く

日米政府の経済協同問題について、金融部、農林部委員の二代表
財する第五回日米琉技術委員会、A.W.ニコル副官(農)の
が十三日午前九時、本政府委員山本通洋長、琉球
この日委員会では昭和三十
九年日米政府援助資金の執行
促進の目的で、日米政府
援助資金の執行機構について計
画案の活用および事業計画の
実行について、なかんずく中心
で討議が行われたが、午前中
の委員会は、その問題につ
ても討議を中止して、午
かた。



日本政府の援助問題について討議する日米琉技術委員会

同委員会は、まずニコル副官が開
会のあいさつをした後、琉球政
府側から資料の提出を求め、議案
の議題になった。委員会は午前
十時半にいったん休憩に入り、
委員は日米政府委員の座下に出
て談話した。同十四日五分
から会議は再開された。委員会は
午前中、すこしを休んで、午
後は前星の演説を聴き、一万圓を
視察予定。委員会の日程は明ら
かにされていないが、日米政府側
も、討議の進捗によって、必ず
まで日米を結ぶことも考えら
れるといっている。なお、委員会
の終了後は、日米琉二者の共同
開が発表されることになってい
る。

年手数料一%まで、大輸運補
給を受けるものとされ、問題
は、さき、議案のいる議として
きた。

日本援助の執行促進

日米琉技術委が共同声明

日米政府の昭和三十一年、四十年
対琉球援助問題について討議す
る第五回日米琉技術委員会、十
三、十四日の二日間、本政府委員
山本通洋長(農)副官、農林部
委員、日本政府委員山本通洋長、
琉球政府側小坂副官(農)の二代表
のほか、各オーストラリアが出席し
て開かれ、十四日午後五時、閉
会した。会議終了後、日米琉代
表は記者会見し、議長が、共同
声明を發表した。

一、琉球政府は、一九六二年度
援助資金四百五十万九千九百九十九
圓九角九分を、昭和三十一年三月
の二十九項目にわたる業務、機
械設備、技術者及び労働者を増大
して活用して執行の促進をはかる
ことで協力の一致を見た。昭和四十
一年援助金の額と計画について
日本政府代表は、琉球政府に、
日本援助の執行、計画を琉球
政府に詳細に説明し、すべての事
業を明年二月末までに完了する
ことを目標とするよう説明した。
また、執行事務の計画性を確保す
るためタイム・スケジュールの作
成を提案した。琉球政府は、こ
れにたいして、原則として同意し、
あらゆる努力を払うことを承諾し
た。

一、琉球政府代表は、執行体制
の整備について日米琉二者の協
力をお願いし、日米代表はこれに
同意した。また、琉球政府代表が
ら提出された計画について、日米
代表は、そのための小委員会を設
置して、検討することの提案があり、了
承された。